

2020年10月 月例市長記者会見 次第

日時：令和2年10月23日（金）

午前11時

場所：郡山市役所本庁舎2階

特別会議室

1 開 会

2 項 目

- (1) 新型コロナウイルス感染症患者の状況と対策について 資料1
- (2) 妊婦・児童のインフルエンザ予防接種費用の助成について 資料2
- (3) 第3回令和元年東日本台風被災事業者調査結果報告について 資料3
- (4) 令和2年度郡山市文化功労賞・教育委員会表彰 表彰式について 資料4
- (5) 農地付き空き家について 資料5
- (6) 廃校活用事業者の公募について 資料6
- (7) 地域子ども教室から放課後児童クラブへの移行について 資料7
- (8) デジタル道路台帳図のセルフ閲覧の開始について 資料8

<その他配布資料>

配布資料① 郡山市内0歳～18歳人口（年齢1歳階級別）

配布資料② 郡山市の妊娠届（母子健康手帳交付）の推移

配布資料③ 国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者の医療費状況

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社

・朝日新聞 ・テレビユー福島

4 閉 会

郡山市の新型コロナウイルス感染症患者の状況

2020.10.23公表分(10/22判明分)まで

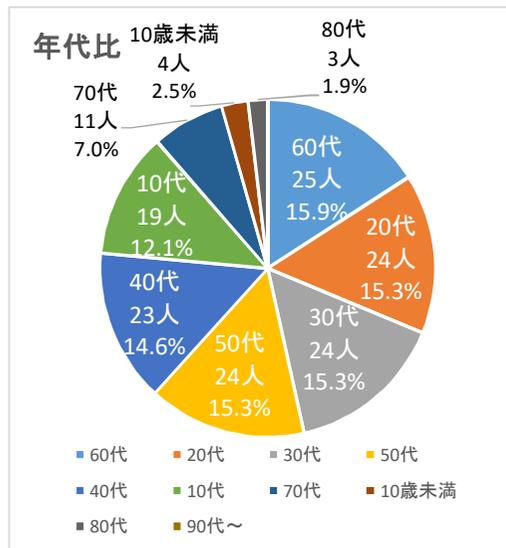
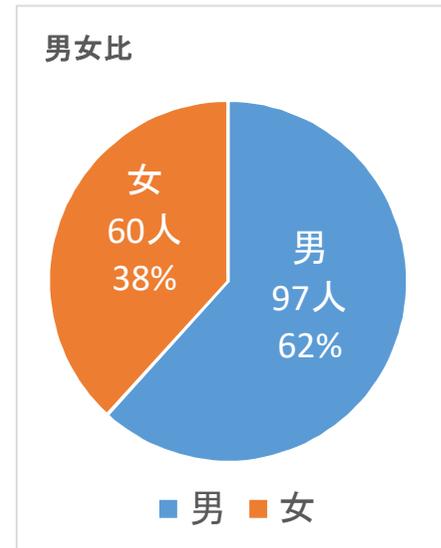
2020年10月 月例市長記者会見
資料1 保健福祉部保健所総務課

陽性患者の状況

陽性患者							
157人	男女別		入院中	入院調整中	宿泊療養中	自宅療養中	退院
	男	女					
	97人	60人	59人	0人	1人	0人	97人

※入退院情報は速報値。

平均入院期間 ※入院勧告の期間(退院者のみ)	13.0日
---------------------------	-------

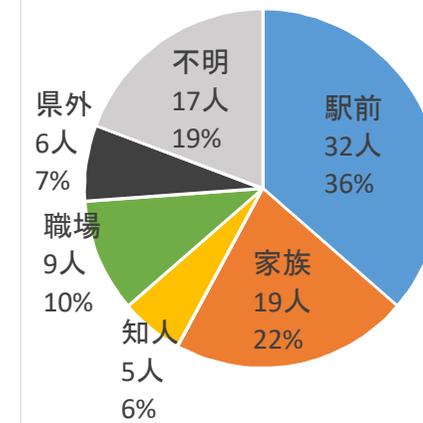


年代	人数
10歳未満	4人
10代	19人
20代	24人
30代	24人
40代	23人
50代	24人
60代	25人
70代	11人
80代	3人
90代~	0人
合計	157人

想定感染源

家族	職場	知人	駅前	県外	不明	計
19	9	5	32	6	17	88

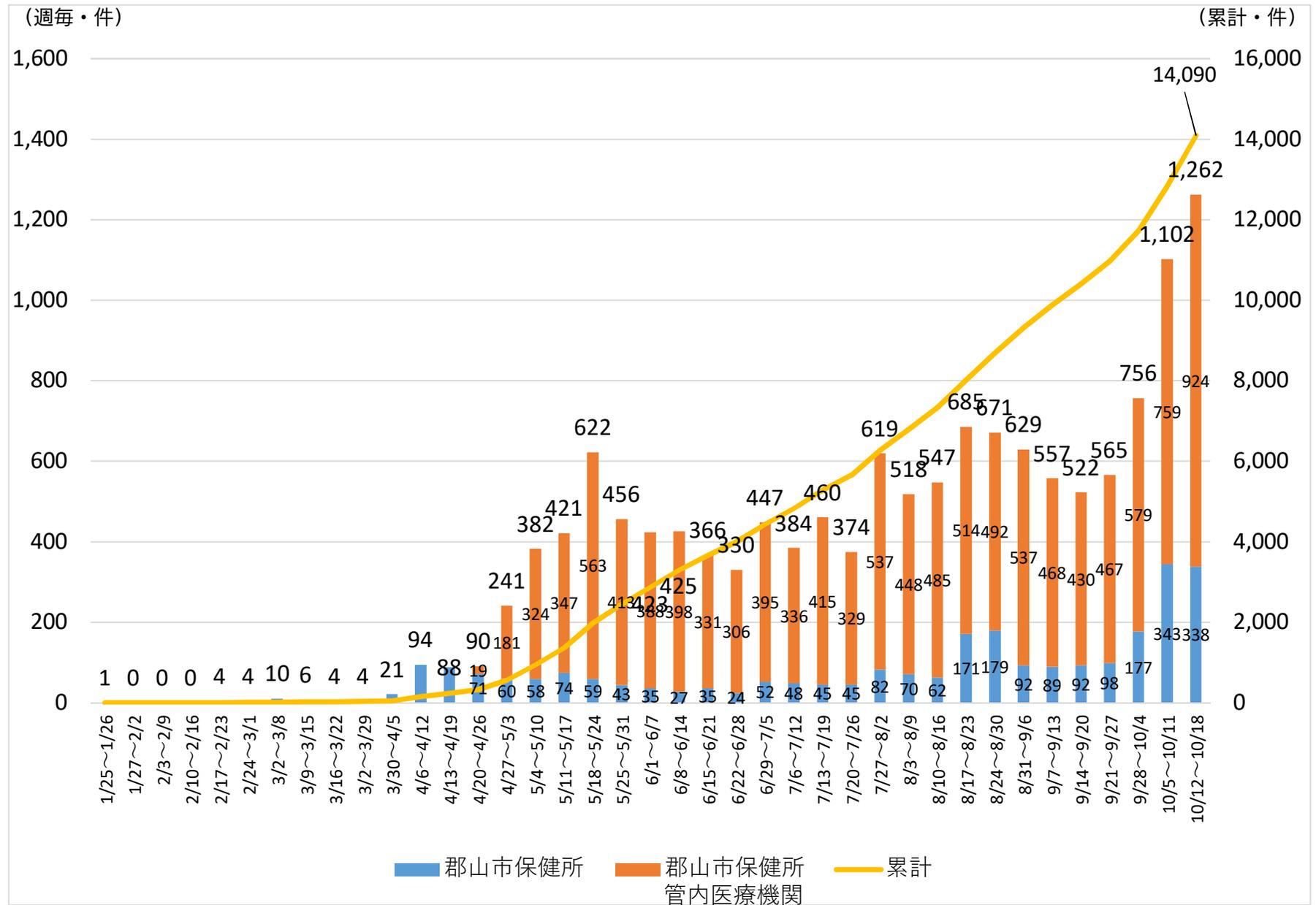
想定感染経路(内訳)



(厚労省クラスター対策班 福島県郡山市調査のまとめ(概略版)から抜粋)

PCR検査件数について

2020/10/18現在(速報値)



郡山市発熱外来診療所 受診者数・検査数

現在	5月7日から開始		うちPCR検査 受診者数	検査結果		※重複	
	受診者数			陰性	陽性		
令和2年10月20日	総 数	267	258	254	4		
	内訳	八山田	239	232	230	2	
		向河原町	28	26	24	2	



郡山市発熱外来診療所PCRセンター 検査数

現在	10月1日から開始		PCR検査数	検査結果		※重複	
	発熱外来診療所	急病センター		陰性	陽性		
令和2年10月20日	総 数	-	47	44	3		
	内訳	発熱外来診療所	-	26	24	2	
		急病センター	-	21	20	1	
	他	-	0	0	0		



郡山市発熱外来診療所（実績）

週 (月～金)	受診者数	内訳		うち PCR検査 受診者数	結果	
		男	女		陰性	陽性
5月7日～	9	4	5	9	9	0
5月11日～	30	14	16	29	29	0
5月18日～	20	11	9	20	20	0
5月25日～	11	7	4	10	10	0
6月01日～	9	6	3	9	9	0
6月08日～	4	2	2	4	4	0
6月15日～	7	3	4	7	7	0
6月22日～	4	4	0	4	4	0
6月29日～	19	8	11	18	18	0
7月06日～	19	12	7	18	18	0
7月13日～	12	10	2	11	11	0
7月20日～	14	5	9	14	13	1
7月27日～	13	10	3	13	13	0
8月03日～	11	3	8	10	10	0
8月10日～	5	2	3	5	5	0
8月17日～	13	6	7	12	12	0
8月24日～	8	5	3	8	8	0
8月31日～	14	8	6	14	14	0
9月07日～	5	3	2	5	5	0
9月14日～	5	1	4	5	5	0
9月21日～	4	1	3	4	3	1
9月28日～	5	3	2	5	5	0
10月05日～	12	9	3	11	9	2
10月14日～	8	3	5	8	8	0
10月19日～						
総 計	261	140	121	253	249	4

接待を伴う飲食店等の従業員等に対する新型コロナウイルスPCR検査実施状況

日付	事前申込		事前容器配布		PCR検査		検査結果	
	申込店舗数	検体数	配布店舗数	容器配布数	検査店舗数	検体数	陰性	陽性
10月8日(木)	34	128	—	—	—	—	—	—
10月9日(金)	24	106	24	108	—	—	—	—
10月12日(月)	38	123	21	68	—	—	—	—
10月13日(火)	12	63	5	9	13	30	30	0
10月14日(水)	6	37	9	20	18	55	55	0
10月15日(木)	10	30	18	62	—	—	—	—
10月16日(金)	5	27	19	62	—	—	—	—
10月19日(月)	7	14	19	86	—	—	—	—
10月20日(火)	7	26	4	14	24	71	71	0
10月21日(水)	7	20	1	2	27	84	84	0
計	150	574	120	431	82	240	240	0

厚生労働省クラスター対策班の支援による新型コロナウイルス感染症患者の
発生状況の分析と今後の対策について（第1報）

令和2年10月15日
郡山市保健所

1 経緯・目的

郡山市においては、令和2年9月から新型コロナウイルス感染症患者が急増し、この間88人の患者を確認した。（10月11日時点）。これらの中には、駅前の飲食店を利用した後感染が確認された患者が多いことから、10月12日から15日までの間、厚生労働省クラスター対策班の支援を受け、郡山市における患者の感染経路を分析することにより、今後の対策に反映させることを目的として、疫学分析を実施した。

2 分析の対象

9月1日から10月11日までに確認された全患者及びこれらに関連が推定された患者総数88人。

3 感染経路の分類と定義

- (1) 駅前：駅前繁華街（駅前一丁目・二丁目、中町、大町一丁目）の飲食店で勤務、あるいは利用し、感染した可能性のあるもの
- (2) 家族：家族内での感染と想定されるもの
- (3) 知人：家族以外の知人との個人単位で濃厚接触で感染した可能性のあるもの
- (4) 職場：職場内での濃厚接触があり感染したと想定されるもの
- (5) 県外：感染の蔓延しつつある地域（県外）への行動歴があり、県外での感染が想定されるもの
- (6) 不明：上記以外
※駅前とその他分類が重複する場合は駅前を優先

4 分析の結果

- (1) 全体像（解析対象患者88人）
 - 発症日を基準としたの流行曲線（別紙のとおり）
 - 性別：男性55人（63%） 女性33人（37%）
 - 年代：男性 20代7人（13%）、30代12人（22%）、40代6人（11%）、50代9人（16%）、60代12人（22%）
女性 20代8人（24%）、30代8人（24%）、40代7人（21%）、50代2人（6%）、60代3人（9%）
 - 感染経路：駅前32人（36%）、家族19人（22%）、知人5人（6%）、職場9人（10%）、県外6人（7%）、感染経路不明は17人（19%）
（再掲）駅前32人及びそこからの感染者15人 計47人（53%）

- 推移：9月初期は駅前飲食店の従業員間感染による小さな集団感染
9月上旬から中旬までは、感染経路不明や県外での感染事例が散発
9月下旬から10月初旬は、駅前で感染した患者が多数発生し、その後、駅前で感染した患者から家族、職場への感染が拡大

(2) 駅前で感染した事例（32人）の分析

- ① 感染場所となった飲食店数：7店舗（接待を伴う店舗2店舗、その他5店舗）
- ② 患者5人以上発生した飲食店数：3店舗（接待を伴う店舗1店舗、その他2店舗）
 - 県外で感染した従業員から飲食店内において同僚間で感染拡大した事例
 - 感染した客から、同席者並びに従業員が感染したと考えられる事例
 - 感染していた従業員から利用客に散発的に感染したと考えられる事例

5 厚労省クラスター対策班からの提言について

- (1) 保健所が実施する積極的疫学調査に関する提言
 - 積極的疫学調査から疫学情報の集約と解析を行い、リスク評価を継続して実施する
- (2) 郡山市として講ずべき対策に関する提言
 - 駅前繁華街への集団検査を継続し、繁華街の現状の評価を行う
 - 駅前以外の繁華街に対しても感染リスクを周知し感染防止と早期探知に努める
 - 現段階から医療機関、福祉施設への流入を警戒し、関係各位と密な情報交換を行い迅速な対応がとれるように準備する

6 郡山市における今後の新型コロナ感染症拡大防止策について

- (1) 医療機関・福祉施設等への感染拡大の防止
 - 郡山医師会と郡山市保健所共催で医療従事者対象の研修会を実施（10月29日）
 - 駅前地区に所在する保育施設職員、高齢者施設職員への無料PCR検査拡大
- (2) 駅前飲食店への支援策の充実
 - 店舗ごとの無料PCR検査を11月末まで継続
 - 無料PCR検査で陽性者が確認された店舗に対する再検査機会の提供
 - 検査実施店舗名の公表（店舗の希望による）
 - 関係団体と連携した感染防止策を推進
 - その他、6回の駅前飲食店の検査結果を踏まえて対策を追加
- (3) 家庭内や飲食店での感染防止策の徹底
 - 日頃の体調確認、体調不良時の早期受診を周知
 - 体調不良時には、飲食店等を利用しないことを周知

妊婦・児童のインフルエンザ予防接種 費用の助成

～ 新型コロナウイルス感染症への対応～



9,100万円

財源区分：単独

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時発症のリスクを低減させるため、市内在住の妊婦及び児童（生後6か月～小学校2年生まで）を対象に予防接種に係る費用を助成します。

助成対象

- ◆ 市内在住（住民登録）の妊婦、児童（生後6か月～小学校2年生）
- ◆ 対象者数

妊婦	約 2,000人
児童	約20,000人

助成方法

- ◆ 医療機関でインフルエンザワクチン接種（乳幼児は2回接種が必要）
- ◆ 償還払いにより、予防接種費用を助成
 - ・予防接種者が医療機関に支払い
 - ・支払い後、予防接種者が市に請求
 - ・市から、予防接種者に支払い

助成期間

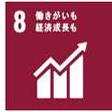
- ◆ 令和2年10月26日 ～ 令和3年3月31日

助成総額

- ◆ 91,000千円

妊婦	7,000千円	@5,000円 × 2,000人 × 70%	(接種見込率)
児童	84,000千円	@3,000円 × 2回 × 20,000人 × 70%	(接種見込率)

(こども支援課)



第3回 令和元年東日本台風 被災事業者調査結果《確定版》

令和元年東日本台風から1年が経過するに当たり、事業者の皆様への被害状況や復興状況を把握し、事業者の皆様への支援施策の参考とすることを目的に、郡山商工会議所ほか3団体との合同アンケート調査を実施した「第3回令和元年東日本台風被災事業者調査結果」《確定版》は、下記のとおりです。

- 1 調査期間 令和2年9月7日から10月19日までの43日間
・調査基準日：令和2年9月30日
・最終集計日：令和2年10月20日
- 2 調査方法 Webによる回答 及び 電話・訪問聞き取り調査
- 3 合同調査団体 郡山市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、
郡山中央工業団地会及び郡山食品工業団地協同組合
- 4 対象事業者 昨年度実施した、第2回調査（1月20日時点）での被災事業者及び新たに被災が確認された事業者
- 5 調査結果の概要
 - (1) 回答のあった被災事業者数 532事業者（10/8速報値：502事業者）
 - (2) 被害額（詳細は「別紙1」のとおり）
625億6千2百万円（10/8速報値：619億1千2百万円）
 - (3) 現在の操業状況（詳細は「別紙2」のとおり）
 - ・全面操業 489事業者（91.9%）（10/8速報値：458事業者）
 - ・一部操業 36事業者（6.8%）（10/8速報値：37事業者）
 - ・市外移転・廃業等 7事業者（1.3%）（10/8速報値：7事業者）
 - (4) 行政に求める支援（上位3つ：複数回答）
 - ・河川改修などの治水対策（91.3%）
 - ・税、使用料の減免（56.3%）
 - ・補助金の拡充（52.6%）
 - (5) その他
 - ・10/8速報値との差は、10月7日以降の追加、修正回答分です。
 - ・次頁以降の各項目集計から「無回答」は除いています。

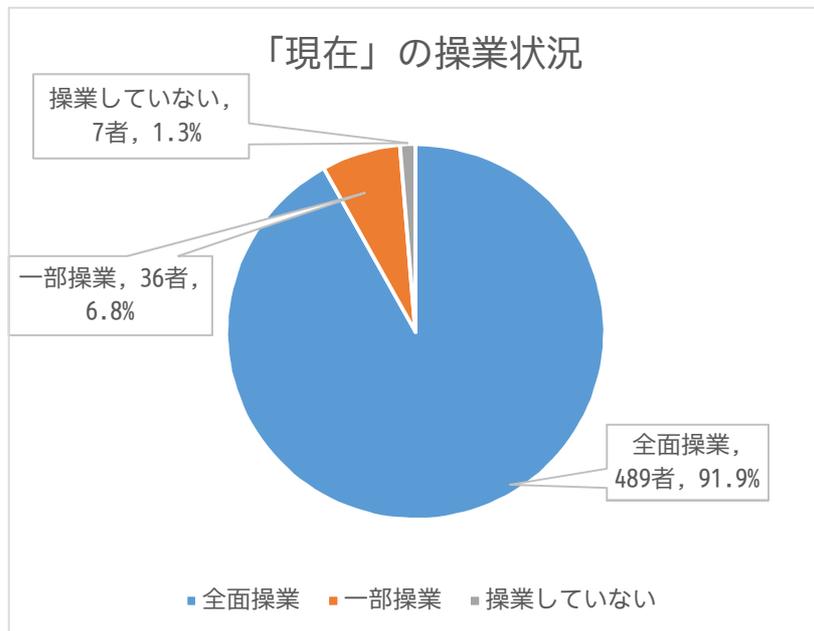
調査結果

【① 被害額】（詳細は「別紙1」のとおり）

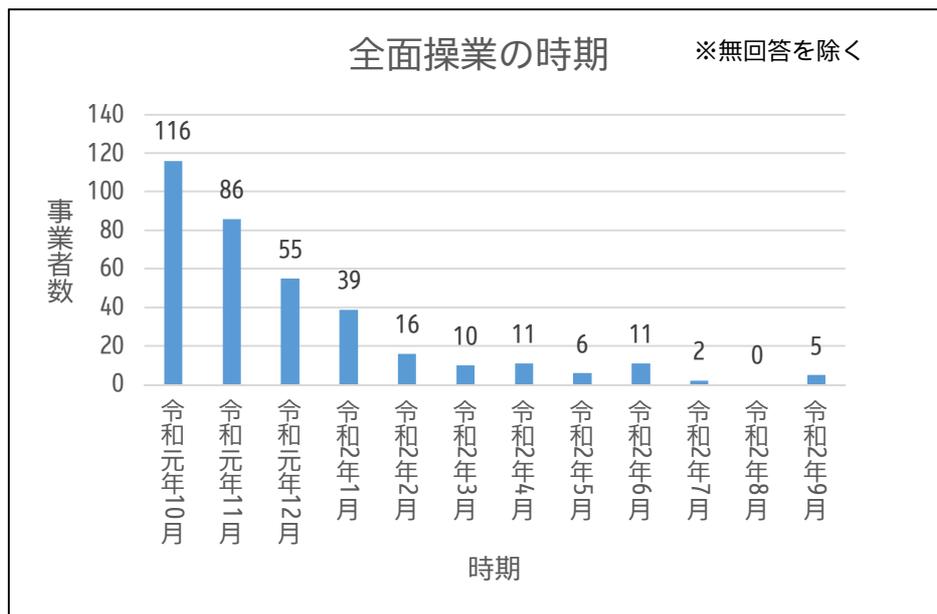
- ア. 資産に係る被害額 430億2千5百万円
（うち郡山中央工業団地：366億9千6百万円）
- イ. 営業に係る被害額 195億3千7百万円
（うち郡山中央工業団地：161億8千8百万円）
- 被害額 合計 625億6千2百万円
（うち郡山中央工業団地：528億8千4百万円）

【② 操業状況】（詳細は「別紙2」のとおり）

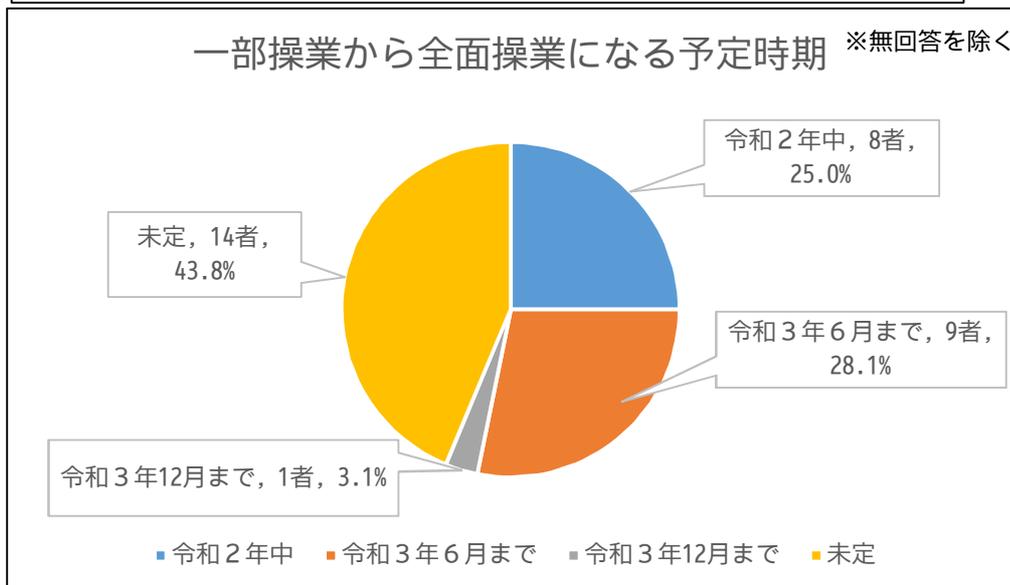
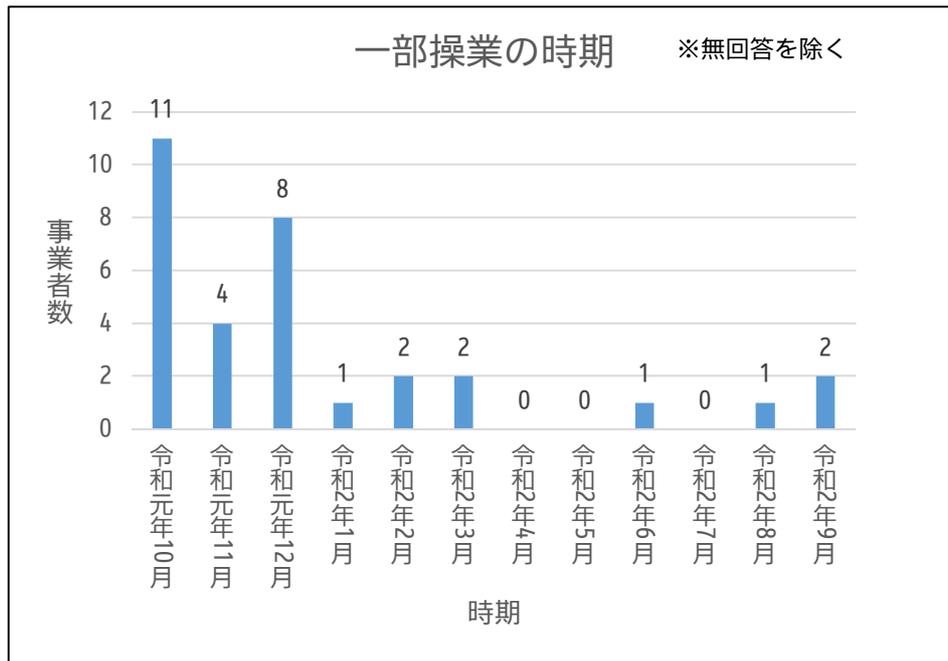
現在の操業状況	回答数
全面操業	489
一部操業	36
操業していない	7
合計	532



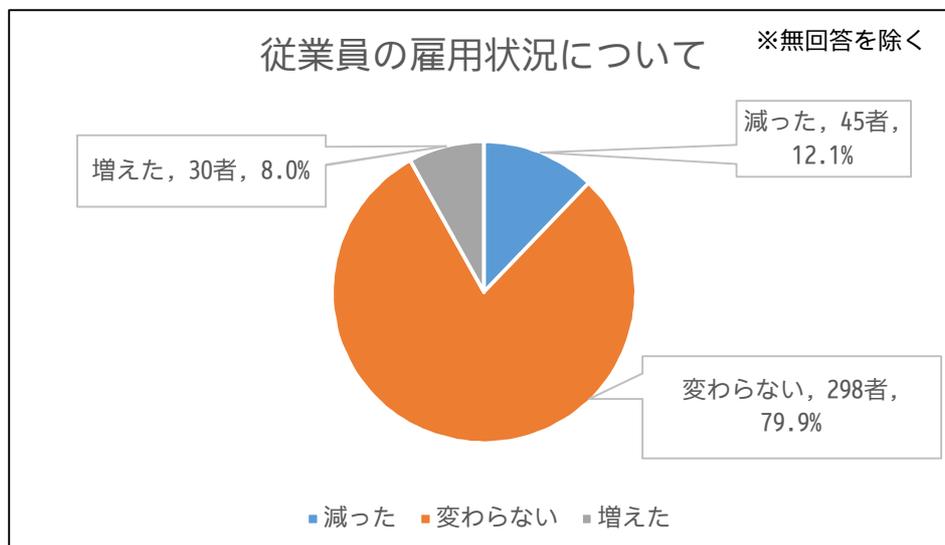
ア. 全面操業の時期



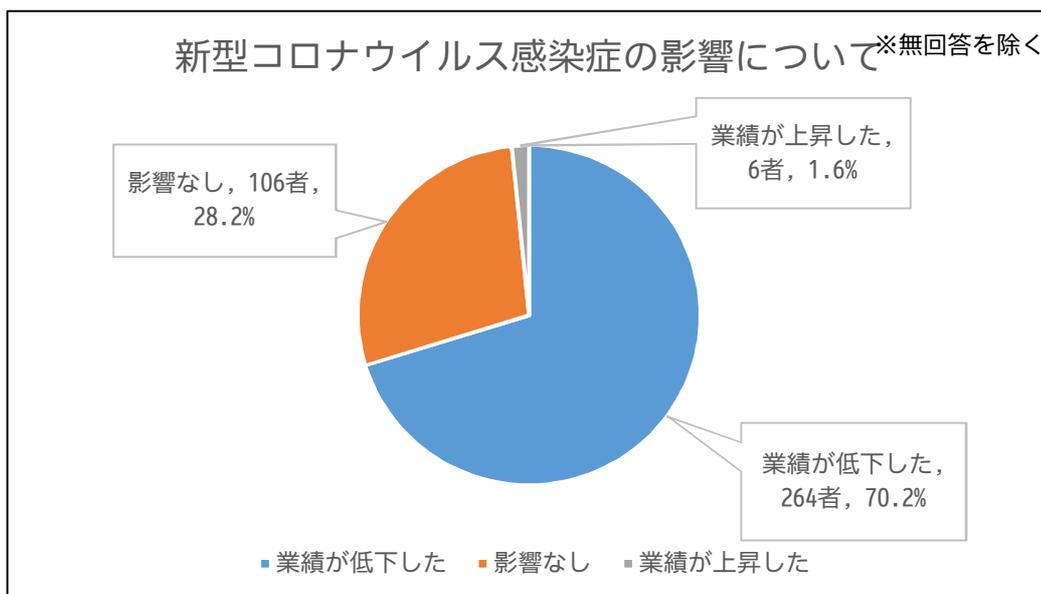
イ. 一部操業の時期



【③ 従業員の雇用状況】

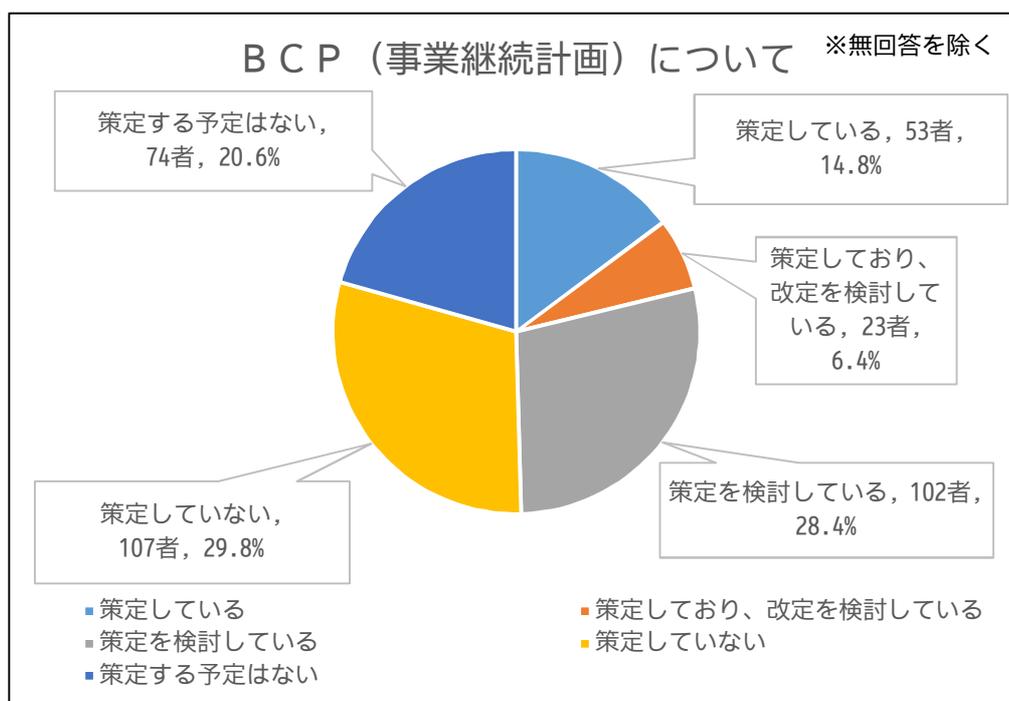


【④ 新型コロナウイルス感染症の影響】

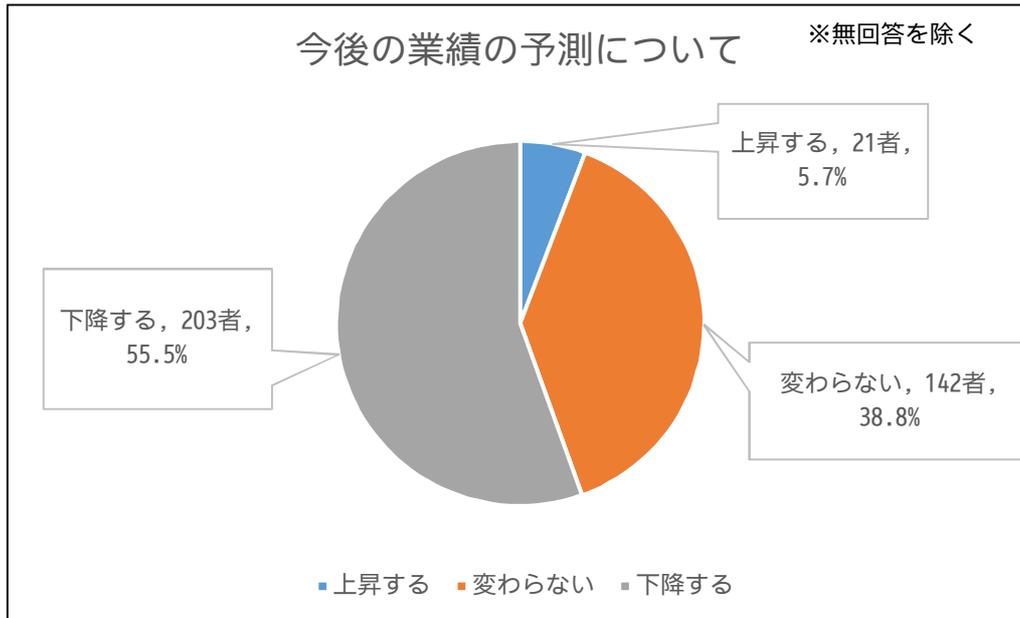


【⑤ BCP（事業継続計画）の策定状況】

BCP（業務継続計画）の策定状況	回答数
策定している	53
策定しており、改定を検討している	23
策定を検討している	102
策定していない	107
策定する予定はない	74
合計	359

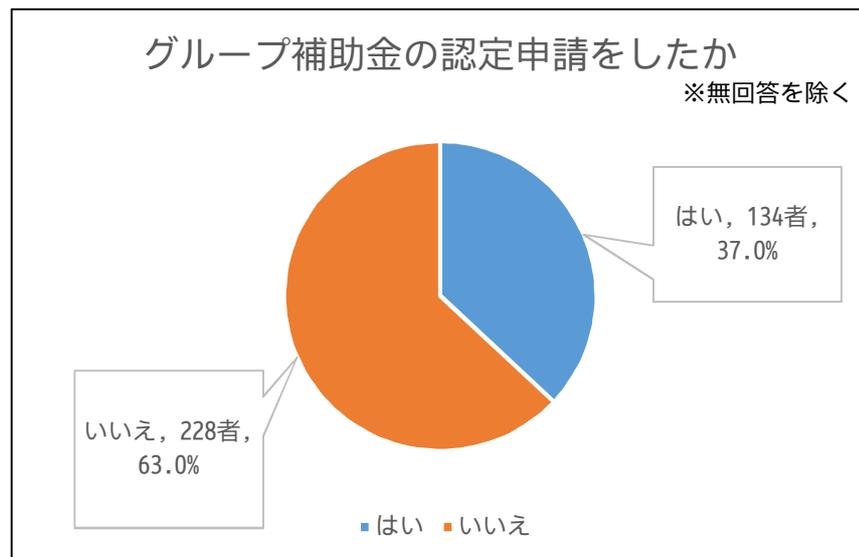


【⑥ 被災前と比べた、今後の業績の予測】

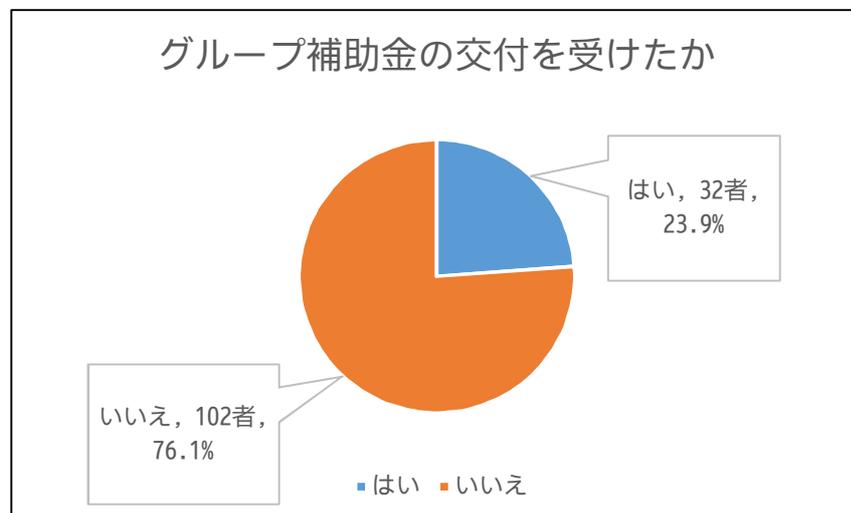


【⑦ グループ補助金】

ア. 認定申請状況

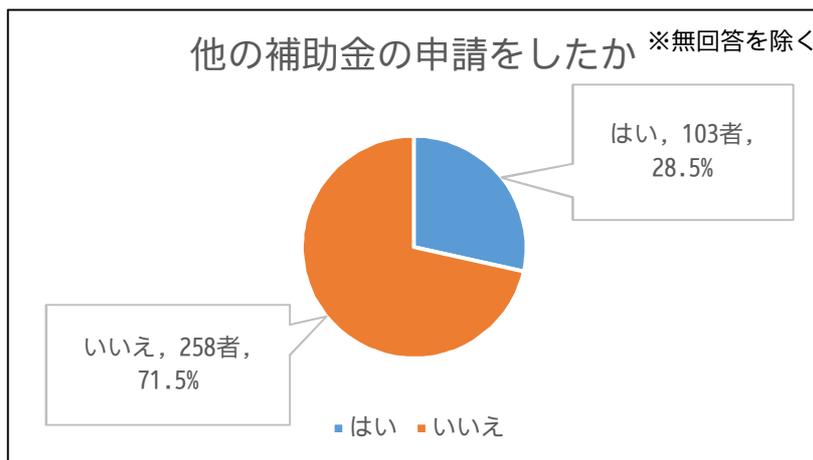


イ. 交付（入金）状況



【⑧ グループ補助金以外の補助金】

ア. 他補助金の申請状況



イ. 申請した補助金の種類

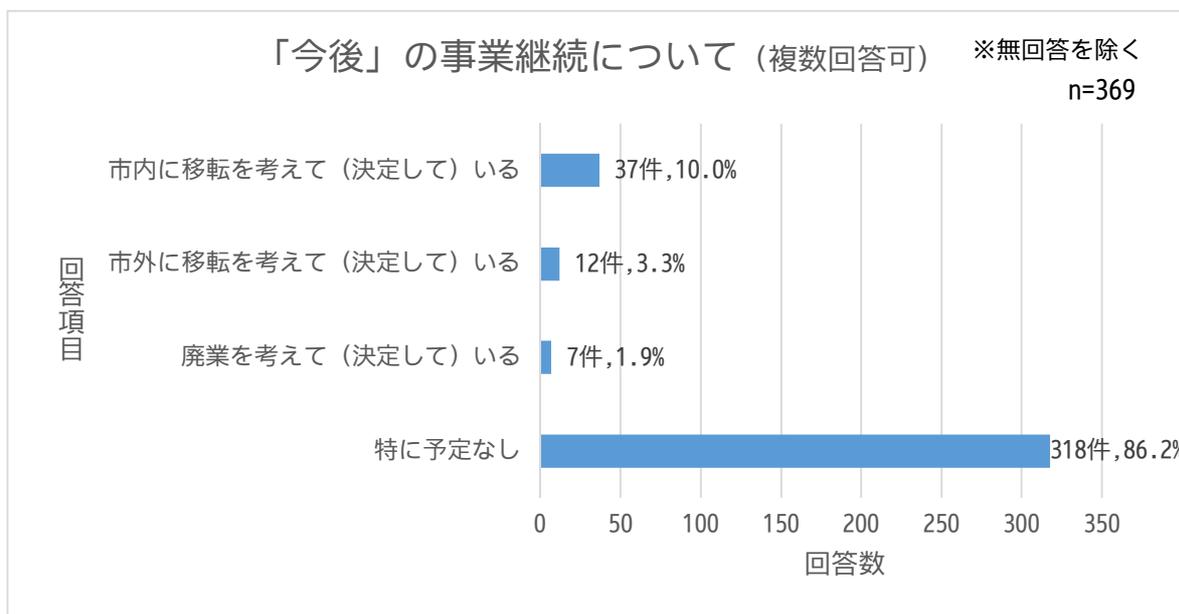
補助金の種類について（複数回答可）	回答数
持続化補助金台風19号型等	68
自治体連携型補助金	19
郡山市立地企業事業継続対策補助金	12
ふくしま立地企業事業継続対策補助金	1
郡山市止水板等設置工事費補助金	1
その他	14
合計	115

【⑨ 事業継続（今後の移転や廃業等の予定）】

※実回答事業者数 369者 (n=369)

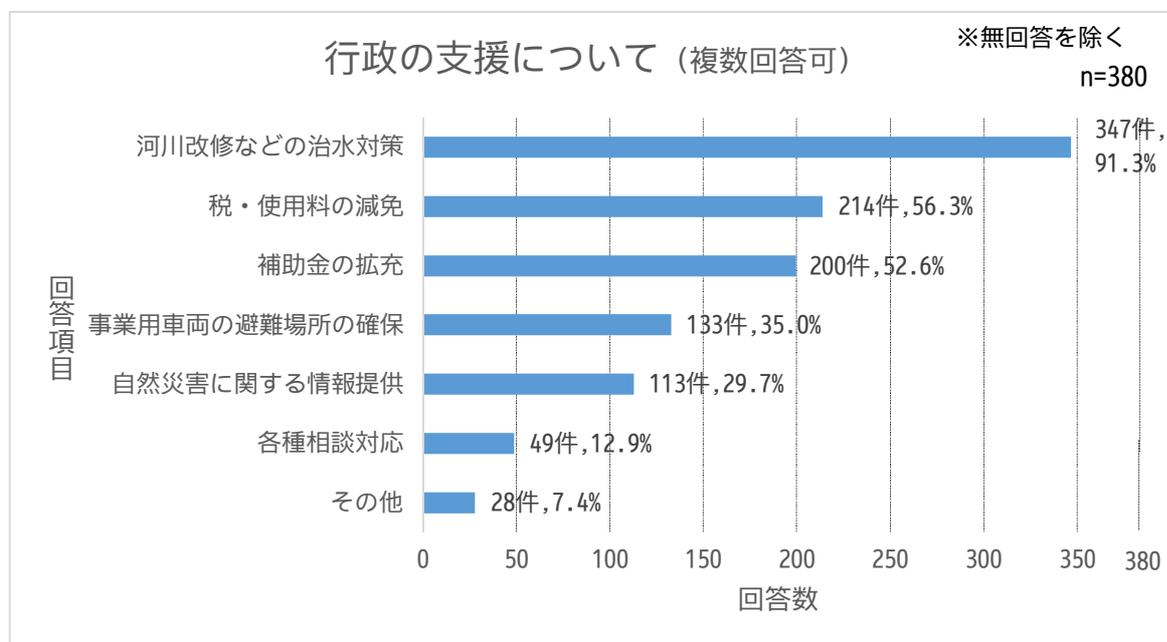
今後の事業継続について（複数回答可）	回答数
市内に移転を考えて（決定して）いる	37
市外に移転を考えて（決定して）いる	12
廃業を考えて（決定して）いる	7
特に予定なし	318
合計	374

※市内又は市外に移転を考えて（決定して）いる
実事業者数 44者, 11.9%



【⑩ 台風被害からの復興に当たり、行政に求める支援】※実回答事業者数 380者 (n=380)
 うち中央工業団地内の事業者数 184者

行政の支援について（複数回答可）	回答数	左のうち中央工業団地内事業者	実回答事業者に対する回答率	左のうち中央工業団地内事業者
河川改修などの治水対策	347	172	91.3%	93.5%
税・使用料の減免	214	99	56.3%	53.8%
補助金の拡充	200	109	52.6%	59.2%
事業用車両の避難場所の確保	133	87	35.0%	47.3%
自然災害に関する情報提供	113	68	29.7%	37.0%
各種相談対応	49	24	12.9%	13.0%
その他	28	16	7.4%	8.7%
合計	1,084	575		



2020年10月23日公表
 郡山市 産業観光部 産業政策課
 電話 024-924-2251
 Eメール sangyouseisaku@city.koriyama.lg.jp

第3回 令和元年東日本台風 被災事業者調査結果<<確定版>> 【①被害額】

別紙1

令和2年10月23日公表

(単位：百万円)

団体名	今回(9/30時点) A				前回(1/20時点) B		増減A-B		備考
	被災事業者数	被害額			被災事業者数	被害額 注2	被災事業者数	被害額	
		資産被害	注1 営業被害						
郡山中央工業団地	271	52,884	36,696	16,188	258	40,180	13	12,704	
うち団地会	132	42,588	29,236	13,352	137	33,858	△ 5	8,730	
郡山食品工業団地協同組合	5	706	23	683	5	176	0	530	
郡山商工会議所	39	5,603	3,892	1,711	114	2,238	△ 75	3,365	中央、食品、商工会を除く
郡山地区商工会広域協議会	217	3,369	2,414	955	211	2,429	6	940	中央、食品を除く
うち安積町商工会	98	1,727	1,188	539	98	1,147	0	580	
うち富久山町商工会	39	1,173	902	271	39	730	0	443	
うち田村町商工会	59	341	305	36	54	537	5	△ 196	
合 計	532	62,562	43,025	19,537	588	45,023	△ 56	17,539	

(注1) 今回の「営業」被害額は、新型コロナによる影響も含む。

(注2) 前回の被害額は、「資産」と「営業」を合算で集計のため、各内訳は無し。

第3回 令和元年東日本台風 被災事業者調査結果<<確定版>>【②操業状況】

別紙2

令和2年10月23日公表

(単位：事業者)

団体名	今回 (9/30時点) 注1				前回 (1/20時点) 注2				備考
	全面操業	一部操業	市外移転 廃業等	小計	全面操業	一部操業	休業中	小計	
郡山中央工業団地	250	18	3	271	/	/	/	/	
うち団地会	124	8	0	132	76	60	1	137	
郡山食品工業団地協同組合	5	0	0	5	/	/	/	/	
郡山商工会議所	33	5	1	39	/	/	/	/	中央、食品、商工会を除く
郡山地区商工会広域協議会	201	13	3	217	/	/	/	/	中央、食品を除く
うち安積町商工会	93	5	0	98	/	/	/	/	
うち富久山町商工会	32	5	2	39	/	/	/	/	
うち田村町商工会	56	2	1	59	/	/	/	/	
合 計	489	36	7	532	/	/	/	/	

(注1) 今回の「市外移転・廃業等」は、本市等各団体において確認できたものに限る。

(注2) 前回の操業状況は、中央工業団地会分のみ調査。

令和2年度郡山市文化功労賞・教育委員会表彰 表彰式について

1 表彰式

- (1) 名称 令和2年度 郡山市文化功労賞・教育委員会表彰 表彰式
(2) 日時 令和2年11月2日(月) 午前10時
(3) 会場 郡山市役所 正庁

2 受賞者 (別紙名簿のとおり)

- (1) 文化功労賞 2名
① 芸術の振興発展に寄与 1名
② 体育の振興発展に寄与 1名
- (2) 教育委員会表彰 16名・1団体
【教育功労者】
① 学校教育の振興発展に寄与 8名
② 社会教育の振興発展に寄与 6名
③ 体育の振興発展に寄与 2名
【教育関係優良団体】
① 社会教育の振興発展に寄与 1団体

3 その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の対策を講じて執り行います。

- ・出席者のマスク着用、受付時に検温、手指消毒を実施
- ・表彰者の配偶者や来賓等の出席者を減らし、ソーシャル・ディスタンスを確保するとともに、換気等に努める。
- ・開催時間の短縮
- ・「国歌」、「こおりやま市民の歌」は演奏のみとする。

郡山市文化功労賞受賞者

(敬称略・順不同)

〔音楽を通じ、芸術の振興発展に寄与〕

齋藤 和夫 郡山市菜根四丁目

(さいとう かずお)

多年にわたり郡山市音楽連盟会長並びに郡山バッハ研究会会長として音楽を通したまちづくりに取り組み、音楽文化の振興発展に尽力するとともに、郡山市文化団体連絡協議会副会長を務めるなど、本市の芸術の振興発展に尽くされた功績

〔スポーツ少年団の活動を通じ、体育の振興発展に寄与〕

橋本 幸一 郡山市逢瀬町

(はしもと こういち)

多年にわたり多田野野球スポーツ少年団代表指導者として青少年への野球の指導や後継者育成を行い、他の指導者の模範となるなど、野球の普及に尽力するとともに、郡山市スポーツ少年団本部長を務めるなど、本市の体育の振興発展に尽くされた功績

郡山市教育委員会表彰受賞者 (教育功労者)

(敬称略・順不同)

〔学校教育〕

佐藤 健 二
(さとう けんじ)

郡山市富久山町

小学校長を退職するまでの長きにわたり、児童生徒の基礎学力の向上、心豊かな人間性の育成に尽力するとともに、家庭との連携を通して、積極的かつ継続的な読書活動を展開し、特色ある学校経営の推進を図るなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

武藤 公 夫
(むとう きみお)

郡山市鶴見坦一丁目

中学校長を退職するまでの長きにわたり、一貫して、生徒が主体となる授業づくりや生徒に寄り添う教師集団づくりに尽力するとともに、退職後も市社会教育指導員や市学校教育アドバイザーとして、各種の支援、相談活動に取り組むなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

菅野 健 一
(かんの けんいち)

郡山市西ノ内一丁目

小学校長を退職するまでの長きにわたり、児童生徒の個性を尊重し、豊かな表現力を身に付ける授業の創造に努めるとともに、東日本大震災後には、率先して教育環境の復興、整備に努め、安全・安心な学校機能の構築に尽力するなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

滝田 文 夫
(たきた ふみお)

郡山市菜根四丁目

中学校長を退職するまでの長きにわたり、生徒の確かな学力向上や豊かな心の教育、社会性の育成に尽力するとともに、退職後も郡山ザベリオ学園小中学校長や市教育委員会の事務点検・評価委員会委員を務め、広範に力を発揮するなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

首藤厚子
(しゅとう あつこ)

郡山市田村町

多年にわたり学校法人尚志学園にて「人づくり教育」の理念のもと、一人ひとりを大切にする教育を実践し、私学教育に邁進するとともに、郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会において、教職員の研修企画・実施に尽力するなど、学校教育の振興発展に尽くされた功績

渋谷義博
(しづや よしひろ)

郡山市朝日一丁目

多年にわたり小・中学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

山田善一
(やまだ ぜんいち)

郡山市並木一丁目

多年にわたり小・中学校の学校医として、定期健康診断、健康相談、日常生活指導等を行うとともに、学校保健衛生の改善等に関する適切な助言、指導を通して地域保健の推進に努めるなど、学校保健の向上に尽くされた功績

池田清
(いけだ きよし)

郡山市亀田一丁目

多年にわたり小学校の学校歯科医、幼稚園の嘱託医として、子ども達のむし歯予防や口腔衛生、予防治療等に関する歯科保健指導を行うとともに、歯科衛生思想の啓発を通して地域歯科保健の推進に努めるなど、学校歯科保健の向上に尽くされた功績

〔社会教育〕

青 砥 照 男

(あおと てるお)

郡山市亀田二丁目

多年にわたり写真家として活躍し、風景や人物など多くの写真作品を生み出すとともに、郡山市総合美術展写真部門審査員や各写真クラブの講師を務め、写真文化の向上に尽力するなど、文化の振興発展に尽くされた功績

古 川 亀 藏

(ふるかわ かめぞう)

郡山市中田町

多年にわたり中田町の郷土史研究に取り組むとともに、中田町の文化財等の調査・保存・伝承活動を行っている「中田町郷土史研究会」の会長として、講習会や展覧会の開催、研究・出版物の刊行等を通して、郷土史の保存・継承に尽力するなど、文化の振興発展に尽くされた功績

大 堀 昌 孝

(おおほり まさたか)

郡山市久留米六丁目

多年にわたり郡山市青少年育成指導員として、青少年の健全育成、非行防止に尽力するとともに、市青少年健全育成柴宮地区協議会副会長や市青少年健全育成指導員連絡会会長等を歴任するなど、地域のみならず全市民的な活動を通して、社会教育の振興発展に尽くされた功績

影 山 ト シ 子

(かげやま としこ)

郡山市富久山町

多年にわたり郡山市少年センター補導員として、年間を通しての補導活動に取り組むとともに、街頭補導委員長として、地域と連携した見守り活動や声かけ運動を行い、青少年の健全育成と非行防止活動に尽力するなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

遠 藤 公 代

(えんどう きみよ)

郡山市田村町

多年にわたり地域婦人活動に携わり、御代田婦人会副会長・会長として、婦人会組織の充実と活動の発展に尽力する傍ら、主任児童委員や郡山市少年センター補導員として、児童福祉、青少年健全育成活動にも取り組むなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

橘 文 紀

(たちばな ふみき)

郡山市池ノ台

多年にわたりPTA活動に取り組み、郡山市PTA連合会会長や福島県PTA連合会副会長等を歴任され、教育懇談会や研究大会など様々な活動を積極的に展開し、PTA活動の推進、活性化に尽力するなど、社会教育の振興発展に尽くされた功績

〔体 育〕

宇 野 伸 一

(うの しんいち)

郡山市大槻町

多年にわたり高校バスケットボール部の顧問として、熱心な指導に尽くし、多くの選手を育成するとともに、郡山市バスケットボール協会会長等多くの要職を務め、バスケットボールの普及発展に尽力するなど、体育の振興発展に尽くされた功績

佐 藤 雅 矩

(さとう まさのり)

郡山市大槻町

小山田ソフトボールスポーツ少年団を設立以来、長年にわたり代表指導者としてチームや選手の指導・育成に尽力するとともに、女子選手の普及活動に注力するなど、青少年スポーツ及び体育の振興発展に尽くされた功績

(教育関係優良団体)

(敬称略)

一般社団法人 東池坊 郡山支部 (支部長 影山 芳月)

(いっばんしゃだんほうじん ひがしいけのぼう こおりやましづ しづちよう かげやま ほうげつ)

昭和 23 年の設立以来、日本の伝統文化である華道の継承活動を続け、
展覧会や市民学級・講座等の開催を通して市民にいけばな鑑賞や花に
触れる機会を提供するとともに、各流派との協調・連携を図り、華道
文化の普及、発展に尽力するなど、文化の振興発展に尽くされた功績

農地付き空き家について

1 目的

農地付き空き家の有効活用の促進により、新規就農者の参入や遊休農地の解消及び発生防止を図る。

2 内容

農地法第3条の規定により、農地の所有権等を取得するには、取得後の耕作面積が原則50アール（※1）以上必要ですが、本市農業委員会では、「NPO法人こおりやま空家バンク」に登録された空き家に付随した農地に限り、市内全域を対象として面積要件を0.01アール以上に緩和しました。

（※1）田村町、西田町、中田町については、平成28年6月に10アール以上に緩和されています。

【参考】1アール=100㎡（10m×10m）

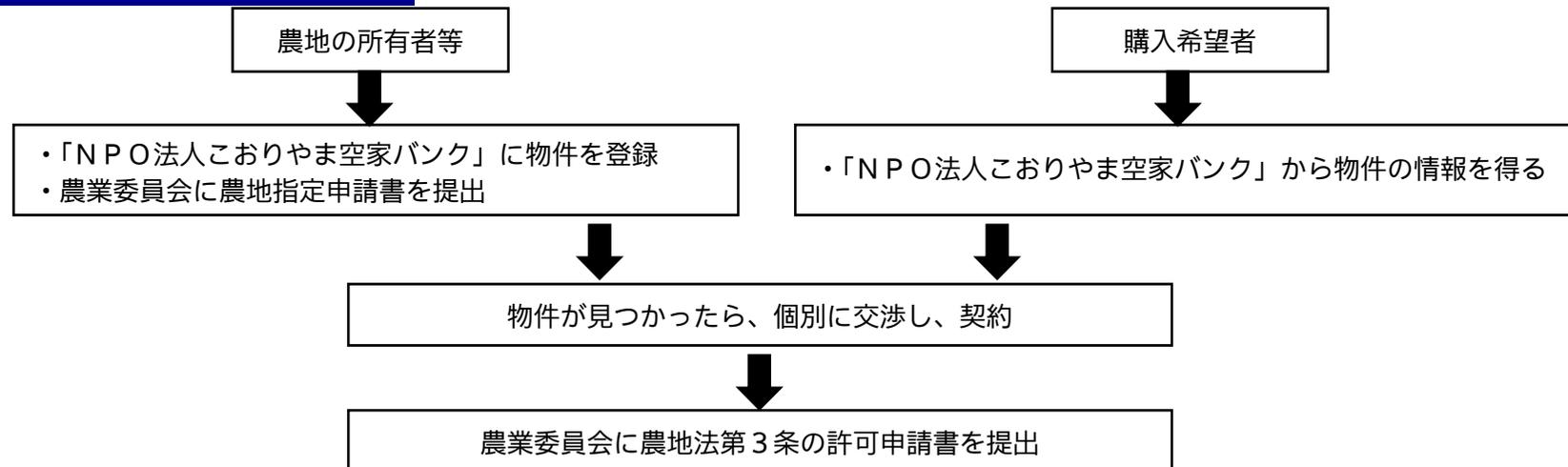
3 主な適用条件

- ・「NPO法人こおりやま空家バンク」に登録された空き家に付随した農地であること
- ・適用する時点で農地が遊休化していること、又は遊休化するおそれがある農地であること
- ・農地法第3条（農地又は採草放牧地の権利移動の制限）の許可要件を満たしていること

【農地の所有権等を取得するための取得後の耕作面積】

50アール以上	⇒ 要件緩和	空家バンク登録の 空き家に付随した農地
田村・中田・西田 10アール以上		0.01アール以上 (1㎡)

4 「農地付き空き家」利用の流れ



5 施行年月日

令和2年11月1日

廃校活用事業者の公募について

1 公募の目的

廃校施設について、長い間、教育の場であり、また、地域のシンボルであったことを踏まえながら、民間事業者の持つ事業ノウハウを活かした施設の有効活用を進める。

今年度、「旧上伊豆島小学校」及び「旧鬼生田小学校」の活用を希望する民間事業者を募集する。

2 募集概要 (予定)

(1) 契約方法

- ・ 現況有姿での「売買契約」または「賃貸借契約」のいずれかによる。
- ・ 施設の一部だけを「買い受ける」又は「借り受ける」提案はできない。
- ・ 売買価格及び賃貸借料は、不動産鑑定評価額を基に決定する。

(2) 応募資格

- ・ 法人格を有する団体とする。(個人での応募はできない。)

(3) 公募開始時期

- ・ 令和2年12月頃を予定。
- ・ 公募開始から施設の引き渡しまでのスケジュール詳細は募集要項で公表する。

(4) 選定方法

- ・ 市は、提案内容の審査を行うため、外部委員及び市職員で構成する活用事業者選定審議会を設置する。
- ・ 審議会は、応募者による企画提案書及びプレゼンテーションを審査する。

(5) その他

- ・ 公募開始日は、決まり次第、市ウェブサイト等で公表する。
- ・ 施設の活用を検討する事業者の施設見学を随時開催する。

3 施設概要

(1) 旧上伊豆島小学校(2019年3月31日閉校)

区分	内容	備考
所在地	熱海町上伊豆島字西畑 32	
敷地面積	10,602 m ²	
校舎	1995年3月建築(築25年) (鉄筋コンクリート2階建)	新耐震基準
体育館	1978年12月建築(築41年) (鉄筋平屋建)	旧耐震基準
プール	1978年7月建築(築42年) (PCコンクリート造)	25m×11m
校庭	5,383 m ²	
区域区分	市街化調整区域	

(2) 旧鬼生田小学校(2018年3月31日閉校)

区分	内容	備考
所在地	西田町鬼生田字西原 288	
敷地面積	15,191 m ²	
校舎	1967年3月建築(築53年) (鉄筋コンクリート2階建)	旧耐震基準 (補強工事済)
体育館	1973年3月建築(築47年) (鉄筋平屋建)	旧耐震基準
プール	1978年7月建築(築42年) (PCコンクリート造)	25m×11m
校庭	5,484 m ²	
区域区分	都市計画区域外	



旧上伊豆島小学校



旧鬼生田小学校

地域子ども教室から放課後児童クラブへの移行について

1 放課後児童対策の現状

本市はこれまで、「放課後児童クラブ」をメインに、放課後児童クラブの開設基準（利用児童10名以上）に満たない小学校には地域の要望に基づき「地域子ども教室」を整備

	放課後児童クラブ	地域子ども教室
①運営主体	郡山市	各地区の運営協議会
②補助金（補助率）	子ども・子育て支援交付金（国1/3、県1/3）	被災者支援総合交付金（国10/10）
③対象児童	保護者が就労等により放課後家庭にいない児童	すべての児童
④支援する者	放課後児童支援員（有資格者） ※会計年度任用職員	安全管理員（資格要件なし） ※有償ボランティア
⑤巡回指導員の配置	○	×
⑥土曜日の開所	○	×
⑦利用者負担金 （おやつ代を除く）	・3,300円（学期中） ・3,700円～5,300円（長期休業期間）	無料
⑧開設校及びクラブ（教室）数	40校・61クラブ	10校・10教室 ^{※1}
⑨利用児童数（10/1現在）	2,719名	322名

※1 移行予定の地域子ども教室 全10教室
湖南地域子ども教室、熱海小地域子ども教室、
安子島小地域子ども教室、三和小地域子ども教室、
御代田小地域子ども教室、高倉小地域子ども教室、
白岩小地域子ども教室、御館小地域子ども教室、
宮城小地域子ども教室、河内小地域子ども教室

2 地域子ども教室の課題

- (1) 被災者支援総合交付金は2020（令和2）年度で終了予定
- (2) 放課後児童クラブと似た運営形態であるが、利用者負担金を未徴収
- (3) 安全管理員が有償ボランティアであるため、補償が不十分

3 放課後児童クラブへの移行（主な変更点）

- (1) 子ども・子育て支援交付金の活用が可能（国1/3、県1/3）
- (2) 受益者負担の原則により、他の児童クラブと同様に利用者負担金を徴収
- (3) 安全管理員 → 放課後児童支援員（有資格者）による支援の実施
- (4) 支援の質の向上を図るための巡回指導員による指導



2021（令和3）年4月～
「地域子ども教室」⇒「放課後児童クラブ」へ移行予定
子ども教室開設の全10地区で説明会を開催

デジタル道路台帳図のセルフ閲覧の開始について

■閲覧・交付の市民サービス向上

道路台帳図の閲覧・交付が、タッチパネル機器を活用することにより、セルフサービスが可能となり、市民サービスの向上を図ります。

	従 来 (これまで)	今 後 (これから)
台帳の閲覧	<p>職員対応で市民が台帳図を閲覧</p> 	<p>市民がタッチパネルで検索</p>  <p>11月から</p>
台帳の交付	<p>職員対応で市民が台帳図をトレース</p> 	<p>市民がPCから印刷</p>  <p>R3.4月から</p>

市民サービスの向上



■5レスの取り組み

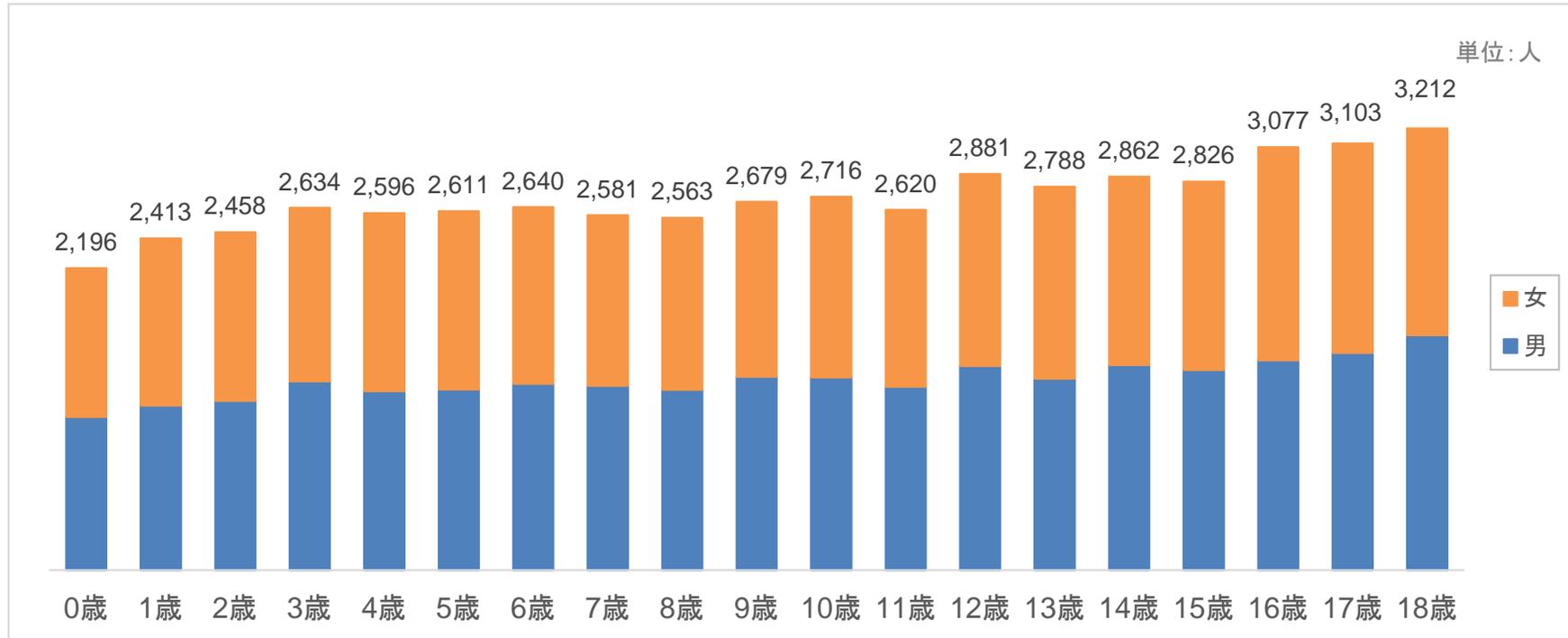
カウンターレス	市民利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧時間の短縮 ・トレースの不要
	業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・職員対応の不要
ファイルレス	業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の検索性向上

感染症対策

■台帳の交付手数料・・・有料

令和2年12月議会 郡山市手数料条例改正（予定）

郡山市内 0歳～18歳人口(年齢1歳階級別)



出典:福島県 企画調整部 統計課
2020年9月1日現在 現住人口

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
総数	2,196	2,413	2,458	2,634	2,596	2,611	2,640	2,581	2,563	2,679	2,716	2,620	2,881	2,788	2,862	2,826	3,077	3,103	3,212
男	1,115	1,197	1,231	1,373	1,302	1,314	1,355	1,340	1,312	1,407	1,403	1,334	1,485	1,392	1,493	1,455	1,526	1,580	1,708
女	1,081	1,216	1,227	1,261	1,294	1,297	1,285	1,241	1,251	1,272	1,313	1,286	1,396	1,396	1,369	1,371	1,551	1,523	1,504

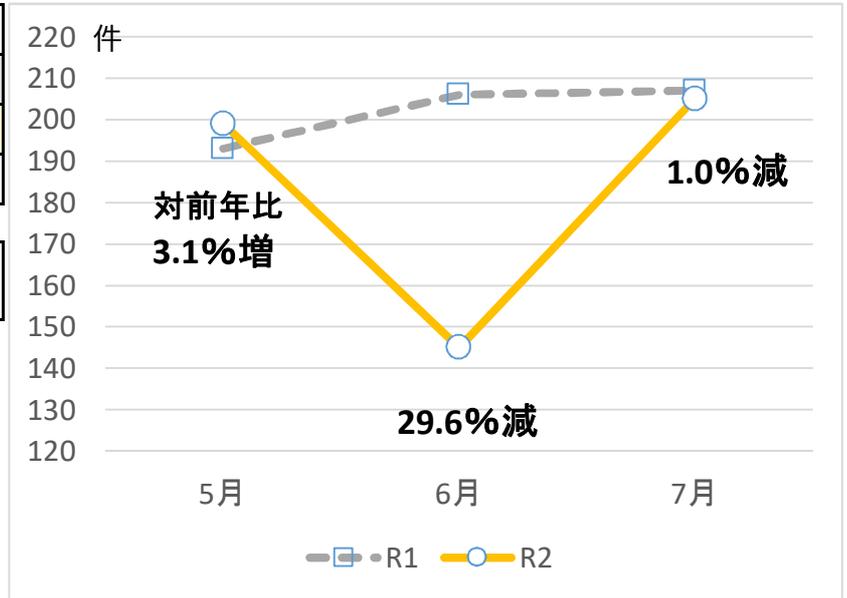
郡山市の妊娠届（母子健康手帳交付）の推移

(件、%)

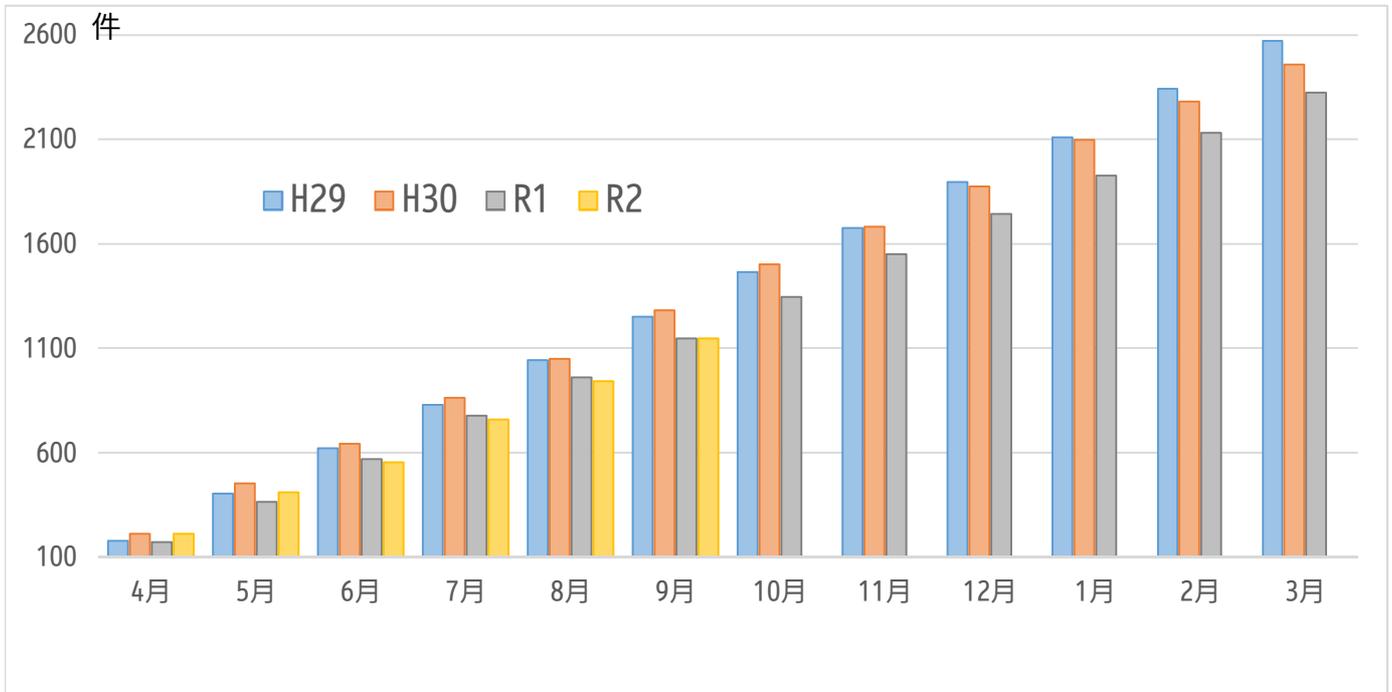
	5月	6月	7月	計
R1	193	206	207	606
R2	199	145	205	549
増減率	3.1	-29.6	-1.0	-9.4

《参考》

全国の増減率	5月	6月	7月	計
	-17.1	-5.4	-10.9	-11.4



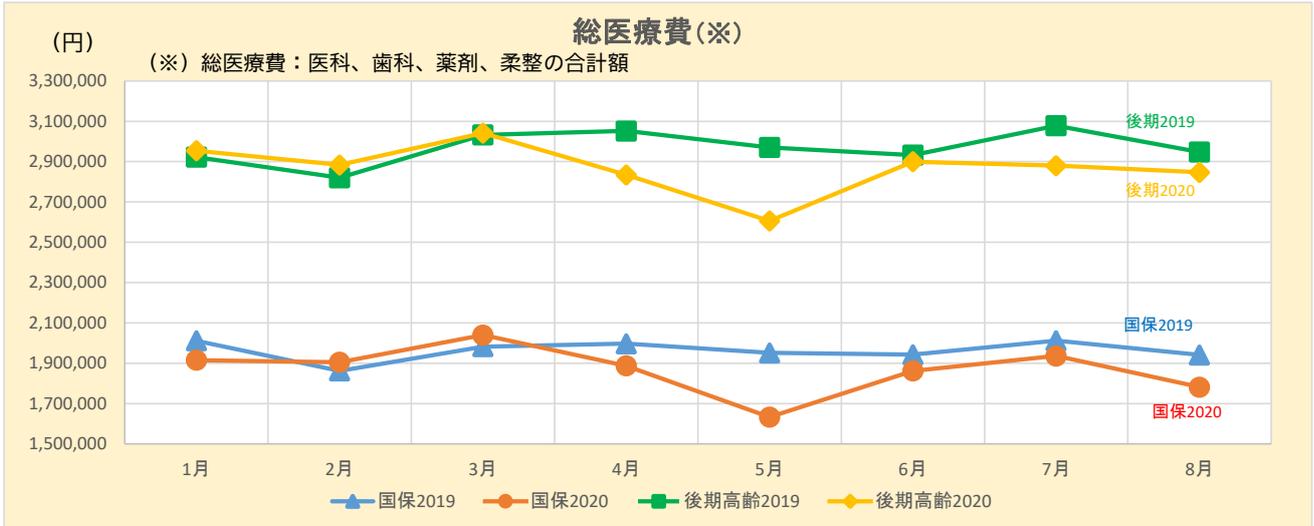
《参考》平成29年度～令和2年度 妊娠届（母子健康手帳交付）件数



月別累計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	177	404	620	830	1,044	1,252	1,466	1,675	1,895	2,109	2,343	2,571
H30	213	452	644	864	1,051	1,281	1,501	1,683	1,875	2,099	2,281	2,460
R1	172	365	571	778	962	1,146	1,345	1,551	1,743	1,928	2,131	2,323
R2	211	410	555	760	942	1,146	-	-	-	-	-	-

国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者の医療費状況

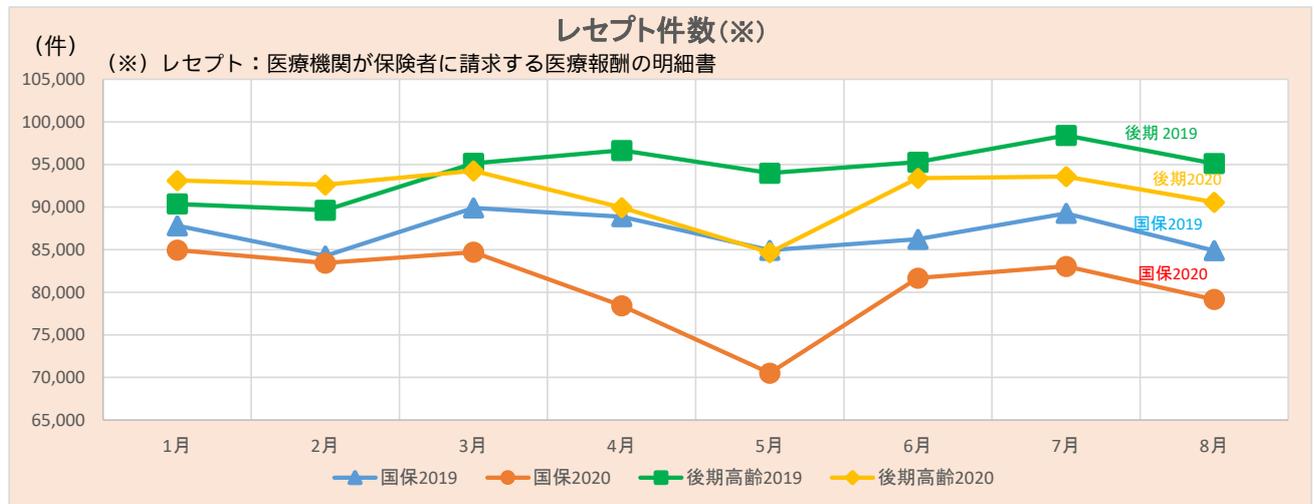


総医療費 (単位：千円)

診療年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国保2019	2,011,445	1,861,839	1,982,550	1,997,248	1,951,566	1,942,743	2,011,990	1,941,491
国保2020	1,915,201	1,904,976	2,039,949	1,887,135	1,632,780	1,861,954	1,935,816	1,781,671
後期高齢2019	2,922,465	2,820,290	3,032,601	3,052,362	2,970,557	2,932,796	3,078,081	2,947,903
後期高齢2020	2,954,414	2,884,007	3,041,649	2,834,496	2,605,775	2,899,549	2,880,242	2,847,327

2020年と2019年の比較

国民健康保険	総医療費	前年度比	6月▲80,789千円 ▲4.2%、7月▲76,174千円 ▲3.8%、8月▲159,820千円 ▲8.2%
後期高齢者医療制度	総医療費	前年度比	6月▲33,247千円 ▲1.1%、7月▲197,839千円 ▲6.4%、8月▲100,576千円 ▲3.4%



レセプト件数 (単位：件)

診療年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国保2019	87,810	84,268	89,893	88,880	84,941	86,222	89,265	84,885
国保2020	84,949	83,427	84,707	78,430	70,513	81,660	83,040	79,169
後期高齢2019	90,371	89,631	95,140	96,653	93,988	95,273	98,416	95,116
後期高齢2020	93,126	92,609	94,257	89,946	84,660	93,391	93,590	90,568

2020年と2019年の比較

国民健康保険	レセプト件数	前年度比	6月▲4,562件 ▲5.3%、7月▲6,225件 ▲7.0%、8月▲5,716件 ▲6.7%
後期高齢者医療制度	レセプト件数	前年度比	6月▲1,882件 ▲2.0%、7月▲4,826件 ▲4.9%、8月▲4,548件 ▲4.8%